

危険日カントボーイ君が壁尻でレイプ されちゃう話♡

回るあざらし

Pixiv : <https://www.pixiv.net/users/118815944>

DLsite : https://www.dlsite.com/bl/circle/profile/=maker_id/RG01054027.html

注意

・この作品はフィクションです。暴力、性暴力やセクハラをしている描写が文中に存在しますが、そのような行為、犯罪を助長する意図は一切ございません。

・まんこやちんぽといったモ口語を使っています。

ふと目が覚めると、僕は知らない場所にいた。
確か学校が終わって帰宅途中だったはずだ。
何の変哲もない、いつも通りの日だった。
それがどうして意識を無くして、いつの間にかこんな殺風景な部屋にいるのだろう。

「えっ……ここどこ……………！？

って、ぼ、僕、なんで前かがみで壁に埋まってんの……
！！？？」

体制の違和感に首を傾げながら視線を下に動かすと不可解な光景が目に入る。

なんと、壁に空いている穴に僕のお腹がぴったりハマっているのだ。

例えるなら鹿の剥製……の上半身まであるバージョン、みたいな。

とにかく何だこれ？？？

いつまでもこんなことをしているわけにはいかない。

どうにか抜け出せないかと身体をひねったり、
足でふんばって上半身を押し出そうとしたけれど、ビクともしなかった。

そして、その確認の途中でとんでもないことに気が付く。
念の為、数回足を曲げてみた。疑念が確信に変わり一気に青ざめる。

僕は今……………下半身に何も履いていない……………。

「うっ、嘘でしょ？何で……っ！！

うわあスースーするう……

こんなの人に見られたらどうすれば……！！」

すりい……っ♡

「えうっ！？♡」

突然お尻を触られた……！？

待って待って、向こうに誰かいるの！！？？

突如心臓がばくんと跳ね上がった。顔が熱くなって汗がタラタラ流れてくる。

わけの分からない状況で、裸の下半身を誰かに見られてる……っ！？

なんて間抜けで恥ずかしい、ただそれ以上にまずい……！！！！

僕の身体は普通じゃないんだ。

僕は男だけど……………生まれつき男性器が無くて、代わりに女性器が付いている。

それ以外はどこをどう見ても平凡な男なのにも関わらず。

この特殊な身体には昔から苦労してきた。

親以外にバレたことはないが、それで安心できるほど単純

な問題じゃない。

僕の自認は男なのだ。

だからこの歳になっても、自らの下半身を完全には受け入れられないでいる。

「誰かいるんですか！？抜け出せないんです！助けてくださいーい！！」

いてもたってもいられず、藁にもすがる思いで叫んだ。

しかし返事は帰ってこない。

衣擦れの音はわずかに聞こえてくるのだから、壁で隔てられているせいではなさそうなのに。

「あのっ、怪しい者じゃないんです！僕ただの高校生で…
…！」

この格好も目が覚めたら勝手に……！！」

それでも必死に叫び続けた。

もうこの際、警察とかを呼ばれても良い。だから早く穴から抜け出した――

フウーツ♡♡

「ひゃあっ！？♡」

い、息を……♡おまんこの割れ目に暖かい吐息を吹きかけられた……♡

どうして？なんでそんなことするの？？？

困惑していると、追い打ちをかけるように恥丘をぷにぷにっ♡とつつかれた。

羞恥心でドッと全身に熱がこもる。

続けて割れ目を上下に撫でられるっ♡指の腹を何度も行ったり来たりさせて♡

すりいーっ♡すりいーっ♡とまっさらなおまんこの感触を確かめられてる♡♡

「いっ……いやッ……♡やめ、やめてえ……♡」

これ絶対怒らなきゃダメなのに♡気丈に注意しなきゃなのに♡

敏感なところを擦られて声が震えてしまう♡

くちゅ……っ♡くちゅ……っ♡

とうとうおまんこが濡れてきちゃった……！♡

絶対男のものとわかるカサカサの硬い指にお汁垂らして♡

滑りの良くなった指でもっとコスコスされちゃってる♡♡

「は……っ♡んん……っ♡ゆびい♡擦らないでえ♡
ぬるぬるやあ……！ンあぁっ！♡♡♡♡
クリ♡♡触れてます……っ！♡♡♡やめてえ！♡♡♡♡
」

どんどん分泌する蜜壺から更にお汁を補充して♡♡
ぴん♡と貼ったクリトリスに塗りたくられる♡♡♡♡

ぷちゅうっ♡♡♡♡
くにくにくにくにっ♡♡♡♡
にゆりい~~~~~っ♡♡♡♡♡♡
ぐにっ♡ぐにっ♡ぐにっ♡ぐにっ♡ぐにっ♡ぐにっ♡
ぐりぐりぐりぐりぐりぐりッッッ！！♡♡♡♡♡♡♡♡

「おおっ♡おほおっ♡だめっ♡クリつままないでええ！
♡♡つぶすのもやあぁっ！♡♡アんッ♡♡ハッ……あん
ッ♡♡♡♡
あっ♡あっ♡あっ♡いっ♡イクう！♡♡
イクイクッ！！♡♡♡♡♡♡♡イツちゃ……………！！！！
！♡♡♡♡♡♡♡♡
んああああああああぁ~~~~~ッッッッッ
！！♡♡♡♡♡♡♡♡」

ビクンッッ！！♡♡♡♡♡♡

ガクッ♡♡ガクッ♡♡ガクッ♡♡ガクウッ〜〜ッ！♡♡♡
♡♡♡

「ほお〜〜〜〜〜っ♡♡♡♡おお〜〜〜〜♡♡
♡♡♡♡♡♡」

きもちいいのがビリビリ脳天まで突き抜ける♡♡♡♡
クリいじめられておっきいアクメしちゃったあ♡♡♡♡
腰がくがくして♡♡♡♡自分では見えないけど、
壁の向こうではがに股で愛液をだらだら垂らす
下品な姿を晒しちゃってるんだろうな♡♡♡♡♡♡

レロオッ♡♡♡♡♡♡♡♡

「おへえっ！？♡♡♡♡にやめられて！？♡♡♡♡まだイ
ッてるのにいっ♡♡♡♡」

レロレロオッ♡♡♡♡レロオ〜〜〜〜ッ♡♡♡♡
ちゅむむうっ♡♡♡♡ちゅうちゅう♡♡♡♡じゅるるる
っ！！♡♡♡♡♡♡♡♡

「あひいいい……〜〜ッ！！♡♡♡♡♡♡あへええッ
ッ♡♡♡♡

じんじんしてるから♡♡♡♡ぺろぺろだめえっ♡♡♡♡

んやあああああッッ！！♡♡♡♡吸わないでええ♡♡♡
♡あちゅい♡♡♡♡
したあちゅいよおお♡♡♡♡♡♡」

アツアツの舌で♡♡クンニされてるうう♡♡♡♡♡♡
分厚い肉が生き物みたいににゆるにゆる♡♡うごめいて♡
♡

おまんこじゅぽじゅぽ♡♡味わわれてる♡♡♡♡♡♡
ふーふーって♡♡生暖かい吐息かかっている♡♡やだ♡♡息
荒い♡♡♡♡

そんなところおいしくないからあ……！！♡♡♡♡
大きな口で頬張らないで♡♡♡♡おまんこぜんぶ食べちゃ
だめえ♡♡♡♡♡♡

じゅっぽ♡♡じゅっぽ♡♡
ぴちゃぴちゃぴちゃぴちゃ♡♡♡♡

「おおっ♡♡じゅぽじゅぽっ♡♡♡♡やめてくたしゃ♡♡
♡♡

おほおっ！？♡♡♡♡♡♡クリなめもむりいッ！！♡♡
♡♡♡

じんじん♡♡♡♡耐えられにやいいっ！！♡♡♡♡♡♡
立ってられにや……♡♡♡♡あああああっっ！！♡♡
♡♡

でるっ♡♡もれ♡♡漏れちゃっっ♡♡♡♡♡♡
ほおおおおおおおおおッッッッ！！♡♡♡♡♡♡♡♡♡
♡♡♡」

ぷっしゃあああーっっ！！♡♡♡♡♡♡
プシー————ッッ！！♡♡♡♡♡♡
ジョバばばばばばあッッ！！！！♡♡♡♡♡♡♡♡♡
♡♡♡

ビクウーッ♡♡♡♡ビクンッ♡♡ビクンッ♡♡ビクンッ♡
♡
へこっ♡へこっ♡へこお……………っ♡♡♡♡♡♡

2回も……ッ♡♡連続外イキ……ッッ♡♡♡♡
クリアクメきちゅいいいい……ッッ！！♡♡♡♡♡♡
さいあくさいあくっっっ♡♡♡♡♡♡止めてくれないか
ら♡♡♡♡
おしっこ出ちゃったよおっ♡♡♡♡♡♡♡多分顔にか
けちゃった♡♡♡♡♡♡♡♡
でもこれで離れてくれるよね！？もう変なことしないよね
！？

ずぷう〜〜〜〜っ♡♡♡♡♡♡

「んううううう～～～ツツツツ！！？？♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

硬くてゴツゴツした指が再びおまんこに入ってくる♡♡♡♡

なんで止まってくれないの♡♡♡♡おしっこかけられても
続けるなんて♡♡♡♡
変態すぎるよお♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

こすこすこすッ♡♡♡♡

くにゅっ♡くにゅっ♡くにゅっ♡くにゅっ♡♡♡

くりゅくりゅくりゅくりゅくりゅくりゅくりゅくりゅくりゅっ
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

とんとんとんとんとんとんとんとんとんとんとんとん
っ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

「んおおっ！！？？♡♡♡♡Gスポまで♡♡♡♡探し当
てるのはやすぎ♡♡

おおッ♡♡♡♡手マンはげひっっ♡♡♡♡とんとんや
あッ♡♡♡♡

イッちゃうッ♡♡♡♡すぐイッちゃうからああああ♡♡
♡♡

イッ♡♡♡♡イッグ♡♡♡♡イッグううう～～～ツツ！♡
♡♡♡」

ガクガクッ♡♡ガクウッ♡♡♡♡

ぷしっ♡ぷしっ♡♡

びしゃびしゃで濡れ濡れのおまんこに指を2本も突き入れられて

すぐさまGスポをぐちゃぐちゃに刺激された♡♡

僕の身体♡♡♡♡散々いじられたせいで♡♡♡♡

すぐイクようになっちゃってる♡♡♡♡♡♡

向こうは誰かも分からない知らない人なのに♡♡♡♡

アクメの余韻から抜け出せないでいると、

ちゅぽんっ！♡とナカを圧迫していた指がやっと出ていった♡

出ていくときも刺激が強くて♡オッ♡って声がもれ出ちゃう♡♡

下の口がぱくぱく♡と収縮しているのがわかる♡♡♡♡

外イキからの中イキでおまんこも頭もふわふわしちゃってるけど♡♡

わずかにカチャカチャという金属音と、

まるで衣服を床に落としたような音が頭の片隅で聞きとれた♡♡

「な……何の音お……？」

ぴとおっ……♡♡♡♡

「えっ！？」

がしっ！と両手で腰を掴まれた♡♡♡♡

おまんこの穴に何か硬いものが当てられてる！？

指よりずっと太長くて♡♡舌よりも熱くて♡♡♡♡ツルツルしてる♡♡♡♡♡♡

これって……♡♡もしかしくなくても……

おちんぼじゃ………！！！！♡♡♡♡♡♡♡♡

腰を掴む手に力が込められる♡♡

ググッ♡♡と熱い棒が密着する♡♡♡♡

「それだけは……！♡♡いや……ッ！！僕の下半身……♡
女の子と同じで♡♡

初めてだから♡♡大切なところだから♡♡

おちんぼ挿れちゃだめなんです……！！♡♡♡♡

ほんとに♡♡♡♡お願いしまー」